

米軍

福知山で

射撃訓練開始

異常事態

Yナンバー車
京都市内にも!?

異常事態です。丹後の米軍レーダー基地が開設して2年ほどが経過します。その間に米軍・軍属による交通事故は、なんと40件にもなります。この10月11月の2ヶ月では、8件の事故が発生。しかし防衛省は、「新しい米軍人が来たら、自動車運転の前に講習を受けさせて」との当然の声に、人が替わるごとに出来ないと拒否。いったい防衛省は、誰を守っているのでしょうか。米軍関係者の車両は、「Yナンバー」車、京都市内にも来ています。

丹後米軍の交通事故
2年間だけで40件に



射撃訓練場での米軍 (福知山市山内さん提供)

住民を無視する
米軍・防衛省

この申し入れを受けて、11月7日に府知事と福知山市長が稲田防衛大臣に面会し、「事件・事故が発生」するこ

京都に、全国に
米軍基地いらない

防衛省の府民や福知山市民を無視した態度に、怒りが広がっています。また、防衛省にも米軍にも何も言わず、府民、住民の安心・安全を守る立場に立たない京都府知事と福知山市長に対しても怒りの声が広がっています。より一層、「京都に米軍基地はいらない」の声を大きくしましょう。

京丹後の米軍レーダー基地の軍人・軍属による実弾射撃訓練が、陸上自衛隊福知山駐屯地の射撃訓練場で11月29日から始まりました。これは、府内に第二の米軍基地ができたことになり、住民の安心・安全にとっても極めて重大な問題です。

京都に第二の米軍基地
米軍・防衛省に抗議の声

福知山射撃訓練場の自衛隊と米軍の併用問題が明らかになると、直ちに京都総評や京都自治労連、福知山市職などの労働組合や様々な団体が府や福知山市に、また、京都教職員組合、福知山市教職員組合は府と福知山市教育委員会に、計画撤回の申し入れを行いました。

とも念頭に、政府の責任ある対応をも求める要請を行いました。

その後、11月8日に防衛省から一定の回答があったことをもって、京都府は11月14日に事実上の承認を行いました。

ところが11月25日、防衛省が京都府に回答した同じ8日に「日米合同委員会」が開催され、「福知山での米軍射撃訓練を了承する合意」がされていたことが明らかになりました。防衛省は、京都府への回答と並行して承認を行ったこととなります。



ストップ! 戦争する国づくり

自衛隊は南スーダンから 今すぐ撤退を

自衛隊員の命をもてあそぶ 誰が責任をとるのか

11月20日、とうとう、安保法制＝戦争法による新任務を付与された自衛隊PKO部隊が、南スーダンに送られました。「衝突であり、戦闘ではない」「ジュバは比較的安定している」などと、政府は無責任な安全判断を繰り返すばかりです。しかし、南スーダンでは、政府派と反政府派の戦闘が激しさを増しています。停戦合意など自衛隊派兵の前提となる「PKO5原則」が崩壊している状態です。自衛隊は今すぐ南スーダンから撤退すべきです。

戦争法は廃止しかない 9条いかした外交を

「駆けつけ警護」などの新任務のために自衛隊が武器を使用し、政府軍と交戦する事態も起こりかねません。政府軍との戦闘は、憲法9条が禁止する「海外での武力行使」そのものです。戦後71年間、憲法のもとで営々と築いてきた平和を破壊し、戦争する国へと塗り替える安倍政権の暴走を止めましょう。戦争法を廃止させましょう。

現在のPKOは、その性格を大きく変え、武力行使も辞さない「交戦主体」に変質しています。PKO派兵ではなく、9条の精神に立った外交努力や、非軍事の人道・民生支援こそ、日本に求められています。



シリーズ④ 自民党改憲草案を斬る

「個人を尊重する」↓「人を尊重する」
「個」を消す＝国の命令に従わせる？
憲法第13条「すべて国民は、個人として尊重される」を、自民党改憲草案では「すべて国民は人として尊重される」と変えて、「個」を消そうとしています。
私たち国民から「個人」としての尊厳を奪い、国の命令通りに動かしたいのでしょうか。
「お国のため」に命を捨てた時代を繰り返してはなりません。

県民の声を 聞いて!

沖縄にもうこれ以上、 基地はいらない

安保法制＝戦争法のもと、いま、全国で、沖縄で、基地の強化が進められています。沖縄東村・高江では、米軍のオスプレイ着陸帯を建設する工事が、住民の反対を押し切って強行されています。天然記念物のノグチゲラやヤンバルクイナをはじめ希少動植物の宝庫「やんばるの森」を破壊する暴挙です。

辺野古でも、「新たな基地はいらない」という県民の意思を無視して、政府は、耐用年数200年という恒久基地の建設をすすめています。

憲法の平和主義も地方自治もないがしろにされています。沖縄にこそ、憲法は生かされなければなりません。沖縄の問題は、国のあり方の問題です。